

飯坂ロータリークラブ 週報

創 立	昭和 33 年 (1958) 5 月 5 日
ガバナー	金 田 昇
ガバナー補佐	紺 野 希予司
会 長	菅 野 浩 司
幹 事	鈴 木 重 忠

2026 - 27 年度
RI 会長 オンライン・ハキム・ハバラ
トランス・アマディ・ロータリークラブ (ナイジェリア)

◆ 例会日 / 木曜日 12 : 30 ◆ 例会場 / かむろみの郷 穴原温泉 ぽのころ 吉川屋
事務局 / 〒960-0201 福島市飯坂町字湯町 3 6 - 6 TEL.070-8322-7988 FAX (024)505-4058
e-mail:iizakarc2530@gmail.com

9月は基本的教育と識字率向上月間
ロータリーの反月間

国際ロータリー第2530地区 2026-27年度

ガバナー公式訪問 令和8年9月10日(木)

【第2530地区ガバナー 金田昇様】今年度、地区ガバナーを拝命しております、白河西ロータリークラブの金田です。職業分類は倉庫業です。先ほど、会長・幹事懇談会を含めまして、クラブについてお聞きしました。各委員会のこれからの本年度の計画をお知らせいただき、それにつきまして、アドバイスができればと思っております。よろしくお願いいたします。

クラブ協議会

S・A・A 生田日正 正 S・A・A 今年度は、私を含めて4名の委員で、S・A・Aの使命と任務を認識し、会長・幹事・各委員会とも密接に連絡を取り合い、秩序正しく品位がある楽しい例会になるように努めます。そのため、6つの項目を推進いたします。

【金田ガバナーより】例会は、ロータリーの基本中の基本、会場監督はとても大事なことです。それと同時に、会長とS・A・Aは例会を司る上で、例会の品質を管理することだと思います。お願いですが、会場に入ってくる方のお顔を見て、この方は今日はどんな様子なのか、気を配っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

クラブ奉仕委員会 渡辺達也 委員長 クラブ奉仕委員会は、今年度、会員増強を最重点課題として取り組み、クラブの活性化はもとより、地域の活性化も図れるようなクラブにしたいと思っております。また、クラブ活性化委員会とも連携を図った例会プログラムを企画し、活力ある、そして、魅力あるクラブ作りに努めてまいります。

職業分類・会員増強・選考小委員会 千葉政行 小委員長 ロータリークラブの運営、そして、発展と活性化には会員増強が欠かせませんので、会員全員で会員増強に取り組み、計画を立てて実行していきましょう。来年度は70周年ですので、強力で会員増強を進めてまいりたいと思います。皆さん、ご協力よろしくお願いいたします。

【金田ガバナーより】会員増強はロータリー1丁目1番地です。会長や委員会が主導するということではなく、全員参加型ということで、全員の問題意識を持てるようにしていただくとところが素晴らしいと思います。職業分類表を適切に活用して、問題意識を共有して活動していただきたいと思います。

親睦活動小委員会 村上裕司 小委員長 今期の親睦委員会では、歴史と伝統ある飯坂の地域への貢献と、会員同士の良好な人間関係をつくるとともに、会員家族の絆を深めることができるよう努力してまいります。楽しい例会となるよう、進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【金田ガバナーより】親睦活動は、ロータリーを木に例えると、葉を茂らせ、花を咲かせるための基本の根っこがどれだけ張っているかということだと思います。この根の部分は「ロータリーの理念」と「親睦」です。親睦は非常に大切な活動であると認識していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

プログラム・出席小委員会 油井明則 小委員長 今年度は、会長の基本方針に基づいて、例会プログラムを企画します。また、各委員会と連携を図り、各委員会活動の発表の場を設けるとともに、移動例会・夜間例会等、会員間の親睦を図るプログラムも取り入れ、魅力ある例会にしていきたいと思っております。

【金田ガバナーより】内容を見ますと、しっかり作られているので、アドバイスはありませんが、特に会員卓話はお一人お一人行っていることが素晴らしいと思います。ロータリー月間の卓話に関しましては、エキスパートがおりますので、ぜひ地区の委員会をフル活用してください。



公共イメージ情報小委員会 伊藤俊憲 小委員長 今年度の活動方針は、①クラブ週報の発行とHPへの情報掲載を通じて、会員や家族や地域住民に広くロータリー活動を伝え、理解と支援を促す。②My ROTARYの登録・活用や、ロゴマークの適正利用を推進する。ITやSNSの活用を推進し、効率化とロータリーの公共イメージ向上に努める。③会員にロータリーに関する情報を提供し、責務の理解や知識の向上を促す。以上です。
【金田ガバナーより】HPなどを見せていただきました。内容的もしっかりできていますし、これだけやっているクラブは少ないと思います。ご注意ください。これは、個人情報の取り扱いについて、昔よりセキュリティが厳しくなっておりますので、個人情報の保護という観点を念頭に置きながら、皆さんで検討していただければと思います。また、ロータリーの友とガバナー月信をしっかり活用していただきたいと思います。



スマイリングボックス小委員会 加藤淳 委員 伊堂小委員長が、例会からの参加となっておりますので、代わりに発表させていただきます。当小委員会は、スマイリングボックス全般を所管し、クラブ活動の原資として会員の自主的な拠出を促し、奉仕への協力をお願いします。会員及びその家族はもとより、種々慶事、各種表彰、事業の発展等を広く披露し、会員相互に祝福して、奉仕への協力をお願いします。ご協力、よろしくお願いいたします。

【金田ガバナーより】 奉仕活動には原資がいるということですので、しっかり集めていただいて、全員が気持ちよく出せるようなシステムを作っていると思っています。その結果として、年間200万円というのはすごい金額ですね。ぜひ達成できるように、皆さんに周知していただければと思います。よろしくお願いいたします。

職業奉仕委員会 渡辺哲也 委員長 職業奉仕とは、ロータリー活動の原点であり、業種の異なる会員が、情報を交換し合い、価値観を共有することにより、職業倫理を遵守して増進し、職業を通じて、社会のニーズに貢献することに努めます。委員会として、ロータリーの理念に基づいて活動し、職業奉仕の理解を深めます。今年度も福島北高への出前講座を実施します。以上です。

【金田ガバナーより】 会員の職場がどんなものか、全員の理解を深めるということで、職場訪問を実施していると思いますので、ぜひ続けていただきたいと思います。出前講座では、高校生へ、職業で培った様々なノウハウ、そういうものを知っていただくというのは素晴らしいと思います。将来、ロータリアンになる可能性もありますので、ぜひロータリーを知っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

社会奉仕委員会 齋藤健太 委員長 社会奉仕委員会では、飯坂という地域は伝統もありますし、その中で、ロータリアンとして、飯坂の地域の社会活動に取り組んでまいります。具体的な内容としては、社会にインパクトを残せるような活動をしてまいります。よろしくお願いいたします。

【金田ガバナーより】 飯坂小学校太鼓クラブへの寄付は、ずっと続けていらっしゃるのですね。これは地区補助金の対象になるかもしれません。申請だけしてみてください。本来は、毎年やっていることに限らず、地区補助金はありません。ただ小学校です。対象者の子供たちは毎年変わります。対象者が変わる継続事業だけれども、補助金の対象になりますということが、近年のR I財団の考え方ですので、ぜひ次年度は検討してみてください。

国際奉仕委員会 加藤 淳 委員長 国際奉仕委員会の活動は、他国の人々との国際間の理解、親善を深め、平和を推進することを目的としています。しかしながら、現在の世界情勢は、戦争や紛争が起き、年々混沌とし、先行きが不透明な現状です。外国人との交流の機会を通し、相互に理解し合うことにより、国際平和を守る一助になれば幸いと考えます。このような観点から、4つの活動を実施いたします。以上です。

【金田ガバナーより】 例会時の100円募金は、事業のためだけの目的の募金なのではないでしょうか？そういう目的で出しやすいところで出していただくことは、素晴らしいアイデアだと思います。外国人と交流し、国際交流を深めたいということで、ぜひ続けていっていただき、できれば、米山の方とも連携していただきたいと思います。地区の青少年奉仕委員会、国際奉仕委員会と連携し、情報を収集してください。よろしくお願いいたします。

青少年奉仕委員会 岸波 仁 委員長 次世代の担い手となる地域の青少年の健全な成長を心から願い、地域社会への理解と国際感覚を育むことを目的として、LYRA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）への参加者の募集、インターアクトクラブ設立のための事前・検討及び準備、中高生に対する職場訪問体験の事前検討、「ダメ。ゼッタイ。」福島県普及運動の一環として行われる「ヤング街頭キャンペーン」の参加と募金活動への協力を行います。以上です。

【金田ガバナーより】 委員長がおっしゃるとおり、次世代の担い手を育成するということは、とても大切な事業ですのでよろしくお願いいたします。特にLYRAに関しては、今までの詰め込み型ではなく、参加型の楽しいLYRAにしてくださいとお願いしており、去年、参加した人にヒアリングをしたら、楽しかったということです、ぜひ今年も多くの方に参加していただきたいと思います。

クラブ活性化委員会 吾妻一夫 委員長 クラブ活性化委員会は、会員や各委員長さんに対して、セミナーや講習会を開催し、様々な知識を習得していただけるよう努めてまいります。各会員が、地域の模範となることを目指し、活動を続けてまいります。以上です。

【金田ガバナーより】 クラブ活性化は非常に難しいテーマです。活性化したクラブというのは、元気なクラブであり、入って良かったと思えるクラブが、活性化されたクラブということです、皆さんと話し合いをしながら、活性化されたクラブを目指していただきたいと思います。クラブ活性化委員会を、独自の委員会として作っているクラブは、今までの公式訪問で初めてです。ぜひ模範になるような活動をしていただければと思います。



ロータリー財団委員会 斎藤孝裕 委員 本日、委員長、副委員長が所用のため、欠席となっておりますので、私の方から、今年度の目標を発表させていただきます。1. クラブ年次寄付目標は150ドル以上。2. 70周年事業実施に向けた補助金プロジェクトの参加検討。3. ポール・ハリス・フェロー1名増、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー1名増。4. ポール・ハリス・ソサエティー2名加入。5. ポリオプラス・ソサエティーの認識向上、加入促進。6. ロータリー財団月間、世界理解月間、識字率向上月間などを通じて、ロータリー財団への理解と支援を呼びかけます。7. 社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、各委員会と連携し、補助金プロジェクトへの参加を検討します。8. ポリオ・プラスプログラムに貢献します。9. ロータリーカードの利用を推進します。以上です。

【金田ガバナーより】 ロータリー財団の活動は、ロータリーの活動の両輪の一つと言われるくらい大切なことですので、資金がなければ何もできません。どのような活動に使われているのか、理解を深めるようにやってほしいと思います。ぜひ地区のロータリー財団の委員長さんをお願いをして、卓話をしていただきたいと思います。

米山記念奨学会委員会 安斎定作 委員長 米山記念奨学会について、会員の皆さんに理解していただくということが、大事だと思っております。また、米山奨学生に例会に参加していただけるように図っていききたいと思います。毎年、八幡神社祭礼の時には、米山奨学生が参加しておりますので、なお継続していききたいと思います。

【金田ガバナーより】 日本最大の奨学金制度で、会員の皆様のご寄付で成り立っております。大切な事業ですので、継続していきと思いますが、近年は寄付額が減っておりますので、地区全体で寄付額を上げて、何とか一人でも多くの学生に奨学金をお渡ししたいと思っております。皆様には重ねてお願いいたします。

戦略計画委員会 渡辺達也 委員長 国際ロータリーの戦略計画及び地区重点目標に基づき、クラブ活性化のために積極的に活動してまいります。会員増強を常に意識し、新会員の積極的な勧誘、また、会員の例会出席率向上を図り、退会防止に努めます。ロータリーのビジョン声明を実践します。ロータリーの活動内容を、地域の皆様に知ってもらい、ロータリーへの理解を深めてもらえるような行動を実践します。今年度もクラブ優秀賞獲得のために、積極的に活動してまいります。以上です。

【金田ガバナーより】 戦略計画委員会は、クラブの在り方、また、中長期的にどういうクラブになりたいかということを含めて活動していく委員会ですので、皆さんで話し合いながら計画を立て、あるべき姿をどうするかというディスカッションを深めてほしいと思います。My ROTARYの中には、いろんなヒントがありますので、ぜひご活用していただければと思います。戦略計画委員会が中心となっていただければと思います。

クラブ協議会前の会長・幹事会



金田昇ガバナーをお迎えして

通算

第10回 [3247] 例会報告

令和8年(2026) 9月10日(木)

出席委員会報告

会員総数 37名

出席会員 27名

欠席会員 10名

出席率 72.97%

言行はこれに照らしてから
「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 菅野浩司 会長

◆ロータリーソング [奉仕の理想] 齋藤健太 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 西島幸輔 職業奉仕委員

◆お客様紹介

※国際ロータリー第2530地区ガバナー 金田 昇 様 白河西RC

※国際ロータリー第2530地区幹事 諸橋 和典 様 白河西RC

※白河西ロータリークラブ 上田 雄介 様

※県北第二分区ガバナー補佐 紺野希予司 様 川俣RC

※県北第二分区幹事 氏家 秀幸 様 川俣RC

※県北第二分区幹事 古川 壮一 様 川俣RC

🎵 今週の誕生日 🎵 9月13日 佐藤 真也 会員 🎵

.....lunch time.....

◆会長の時間



本日は、ガバナー 金田昇様ならびに地区役員の皆様、飯坂ロータリークラブへ公式訪問をいただき、会員一同、心より歓迎申し上げます。また、平素より当クラブの活動に対し、温かいご指導とご支援をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。本日は、朝早くから会長・幹事会を開催し、つづきましてクラブ協議会と、金田ガバナー様よりの確なご指導・ご助言をいただきました。ありがとうございました。今後のクラブ運営にとっても役立つものと受け止め、即実践してまいりたいと思います。

さて、本日の会長の時間ですが、最近、若い世代を中心に広く使われている「タイパ」... つまり「タイムパフォーマンス (時間対効果)」という言葉について、少しお話しさせていただきます。タイパとは、かけた時間に対して、どれだけの満足感や成果が得られたかを表す考え方です。情報があふれる現代社会において、時間をいかに効率的に、無駄なく使うかが重視される時代となっています。実は、この「タイパ」という観点から、改めて私たちの活動を見つめ直したとき、ロータリークラブという組織は、100年以上も前から、この時間対効果を極めて高い次元で実践してきた先駆者なのではないかと感じることがあります。その最たる例が、私たちが毎週集うこの「例会」です。私たちの例会は、毎週わずか1時間と決められています。この決められた短い時間の中で、規則正しい進行のもと、友人と食事を共にし、情報交換を行い、卓話を通じて新しい知見を得る。ロータリーは「毎週1時間」という規律を維持することで、最大限の奉仕と親睦の成果を生み出してきました。これこそが、ロータリーが長年培ってきた「高効率で質の高い仕組み」、つまり素晴らしい「タイパの良さ」だと確信しております。本日は、金田ガバナー様をはじめとする皆様の情熱的なリーダーシップに触れ、私たちはこの効率的で素晴らしいロータリーの伝統をさらに磨き上げ、地域社会へと還元していく決意を新たにいたしました。本日の例会が、限られた時間の中で最大の成果と深い親睦を生む、実り多き「時間」となりますことを祈念いたしまして、本日の会長の時間とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



佐藤勝也会員、佐藤直弘会員へ
会員章(地区番号入り)
『今日からロータリー』の贈呈

金田昇ガバナーより新会員へ

◆スマイリングBOX 桑原正人 委員【合計108s】

紺野希予司 様 (川俣RC)	5,000 円	本日の金田ガバナー公式訪問宜しくお願いします。
菅野 浩司 会員	10 s	2026-27 年度ガバナー公式訪問を祝して 国際ロータリー第 2530 地区ガバナー 金田昇様、地区幹事 諸橋様、白河西 RC 上田様、東北第二分区分ガバナー補佐 紺野希予司様、分区分幹事 氏家様、古川様をお迎えして
鈴木 重忠 会員	10 s	ガバナー公式訪問を祝して 安斎 忠作 会員 5 s 金田ガバナーをお迎えして
村上 一夫 会員	5 s	金田ガバナー、諸橋地区幹事、上田様、紺野ガバナー補佐、氏家幹事、古川幹事をおむかえして
吾妻 隆章 会員	5 s	金田ガバナー、紺野ガバナー補佐、そして、地区幹事様、分区分幹事様をおむかえして
堀切 孝敏 会員	5 s	R I 第 2530 地区金田ガバナー、東北第二分区分紺野ガバナー補佐をお迎えして
佐藤 喜市郎 会員	5 s	金田ガバナー様をおむかえして 紺野ガバナー補佐様宜しくお願いします。
佐藤 真也 会員	5 s	金田ガバナー、紺野ガバナー補佐をはじめ、ゲストの皆様をお迎えして
紺野 容樹 会員	5 s	金田昇ガバナーをはじめ、ゲストのみな様をおむかえして
生田 目正志 会員	5 s	金田ガバナーをはじめ、ゲストのみなさまをおむかえして
渡辺 達也 会員	5 s	ガバナー金田様、ガバナー補佐紺野様他、皆様をお迎えして
油井 明則 会員	5 s	金田昇ガバナーをはじめ、多くのゲストの方々をお迎えして。
千葉 政行 会員	5 s	金田ガバナーをはじめ、多くのゲストをお迎えして
加藤 淳 会員	5 s	金田ガバナー、ゲストの皆様方をお迎えして
伊堂 里佳 会員	3 s	金田ガバナー、紺野ガバナー補佐をおむかえして
斎藤 孝裕 会員	3 s	ガバナー金田様、皆様方、ようこそ飯坂温泉へ
岸波 仁 会員	2 s	金田昇ガバナーをお迎えして
齋藤 健太 会員	1 s	ガバナーをおむかえして
澤田 健 会員	1 s	金田昇ガバナー公式訪問を祝して 本日はよろしくお願ひします。
石川 邦俊 会員	3 s	金田ガバナーをお迎えして
小笠原尚史 会員	3 s	ガバナー公式訪問を祝して
伊藤 俊憲 会員	1 s	金田昇ガバナーをお迎えして
桑原 正人 会員	1 s	たくさんのゲストをおむかえして



金田ガバナーより会員の皆さんへ
「白河銘菓 だるま最中」

◆ゲストスピーチ

国際ロータリー第2530地区ガバナー 金田 昇 様



今日は公式訪問ということで訪問させていただきました。皆様の貴重な時間を大切にして、お話しができればと思います。はじめに、今日お配りしました「だるま最中」ですが、私は白河出身で、白河はだるまが有名ですので、その形をした最中が作られています。そこに食品用のプリンターでロータリーのマークを入れました。本日は皆様にご賞味いただきたくお持ちしました。それでは、自己紹介をさせていただきます。昭和27年に白河市に生まれ、大学を卒業してから地元に帰り、30年前に今の会社を起業し、現在に至っております。ロータリークラブには43歳の時に入会し、2010-11年度、震災の年にクラブ会長に就任、2021-22年度に地区のガバナー補佐を拝命いたしました。地区のガバナーというのは役員だと思っております。

派遣されてここに来ているという感覚です。そう思っていたけると大変ありがたいです。

今年のRI会長のババロラさんはナイジェリアの方です。「持続可能なインパクトを生み出そう」というテーマですが、時代を超えて続く変化を起こしてくださいということです。また、過去の自分を超えてくださいということをおっしゃっております。ロータリークラブに関してもそうです。「最も成果を上げた年を見つけてください。入会者が多かった年度、財団寄付が一番多かった年度、今年はそれを超えるということを目指しててください。それに向かってしっかりチャレンジしてください」というのが会長の今年度のお話です。そして、これからの奉仕活動について、地域が必要としているものを調査してください。何が必要か、何をすべきなのか、奉仕活動に飛びつくのではなく、継承しながら、常に必要なことをやってほしいと思います。現代的な環境を含めたニーズに、現代的な奉仕活動を模索しながらやっていただければと思います。

今、日本のロータリーはどうなっているのか？後継者不足、事業承継が難しいと言われており、ロータリアンが少なくなってきました。私の個人的な見解ですが、日本国内における問題、都市型クラブと地方型クラブというものがあると思います。それは、会員基盤の違いであったり、財政的な規模の違いです。第2530地区の中にも、やはり都市型クラブと地方型クラブが存在します。特に、郡山ロータリークラブや福島ロータリークラブを頂点とする、大きな100人規模のクラブもありますが、小さなクラブは3人というクラブもあります。第2530地区のピーク時には、3200人の会員がおりましたが、今は約30%減の2100人ぐらいに減ってしまいました。それを解決するためにはどうするのか？地区内のクラブ同士の共同作業、いろんなことを一緒に活動する。小さなクラブでできなければ、地区からの応援や、隣のクラブに手伝ってもらうなど、そういうことも必要であると考えます。飯坂クラブさんは、他のクラブと一緒に活動していらっしゃるということです。それは合致するのかなと思いますし、この活動を他のクラブでもどんどん体現していったほしいというのが私の考えです。クラブの活性化とは、元気のある楽しいクラブ、これにつきます。行きたいクラブ、辞めなくて良かったというようなクラブをどうやって作るかです。これを考えてほしいと思います。課題を見つけて解決することを、ぜひ全員参加でやってほしいと思っています。このクラブの課題は何か。話し合いで見つかると思いますし、クラブ活性化のためのディスカッションをしてほしいと思います。私が提案するのは、まさにこのディスカッションです。例会、クラブ協議会、いろんな場面で話し合いをしてほしいと思います。

まとめとなりますが、私は、クラブの舵取り人数にあまりこだわりません。“質”にこだわりたいと思います。やみくもに人数を増やすのではなく、このクラブに適した方、プライドとステータスを求める方を入れて欲しいということです。キーワードは「多様性」「地域との連携」ということを念頭に活動してほしいと思っています。

少し時間をいただいて、ポリオプラスへのお願いです。もし、ロータリーがポリオ撲滅活動をしていなかったらどうなっていましたか？とAIに問いただしたら、2027年7月時点で数千万人の患者がいたでしょうと答えました。両親を含めた家族、1億人の人間がポリオで苦しむことになります。それを撲滅するために、ロータリーは1988年からこの活動をやっており、あとラストワンマイルまでできました。もし、私たちが撲滅することができたとしたら、歴史上、何百年もロータリーという団体が撲滅したと称賛されることになります。ロータリーは世界中の子供に約束したのです。世界からポリオをなくすことを誓いますと約束しましたが、まだ果たされていないのです。それまでは、ロータリーは辞めないという活動です。ロータリー活動とはこういうことなのです。

それでは時間になりましたので、この辺で終わらせていただきます。何度も申し上げますが、ロータリーとは何か。歴代のガバナーが「ロータリーを楽しみましょう」とお伝えしています。そこに私の言葉を1つ付け加えさせていただきます。「仲間とともにロータリーを愉しみましょう！」、この仲間はフレンドではありません。“同志”です。同じ心志を持つ仲間です。その仲間とともに、ロータリーを楽しんでいただけるような1年にしていだければと思います。私も飯坂ロータリークラブの活動を少しでもご支援できたら、1年間、愉しく過ごせると思いますので、お付き合いをよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長